

未年
七
八
九
十
十一
十二

一、
平

人

懷中先生存正

白虎子

心低れり
来たるより多し
中野正徳氏人
より智恵の利
ありてなり

王

五

萬物由心而生
 心由氣而生
 氣由理而生
 理由道而生
 道由天而生
 天由地而生
 地由人而生
 人由心而生
 心由氣而生
 氣由理而生
 理由道而生
 道由天而生
 天由地而生
 地由人而生
 人由心而生

王

[illegible]

印信職掌

松山守備軍兵は、前記の如く、
中、右、左、前、後、各一、立、置、所、
に、
中、右、左、前、後、各一、立、置、所、
に、
中、右、左、前、後、各一、立、置、所、
に、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

土、
土、

梅雪堂詩集卷之四

子細看

文化の発展は、
教育の普及による。
知識の伝播は、
文字の発明による。
思想の自由は、
言論の保障による。
社会の進歩は、
科学の発展による。

[illegible]

此の書は、
りぬる
る年
うめ
七

左に
た
と

下任三月三日
書

[illegible]

三月
右より○三月
抄書

日
始丁酉

内日
抄書
日
始丁酉

右
抄書
日
始丁酉

音

肉稅

[illegible]

王任之

あまのむね

三

吐

三

[illegible]

司馬遷の史記の序文の「史記」の「史」の字は「正史」の「史」の字と同一である。

壬午九月

十

省城新修水渠

[illegible]

一 南人風

一、
高子方知年之壯也

[illegible]

此等之事、
 村中、
 由是、
 以、
 而、
 元、
 予、
 比、
 去、
 形、

一、明之治世

竹園先生文集 卷之八 一 糸一 竹園先生

市書局藏

一、不肖者乃乞求利於世者多矣

十二月

十日

十卷

[illegible]

一、素可好及所伯村一统、主、面入、即、

[illegible]

中村文子氏
先生より敬啓
奥の細道

[illegible]

神戶新聞部
 少子部
 村田吉良
 少子部

羅城

[illegible]

之山明矣
 山田種矣
 山平矣
 聖人壽矣
 田中平矣
 山之平矣
 山之平矣

[illegible]

川 昭而三帝
福至存之命
村田久之助
物部氏之臣
平四郎

客子路

七本屬と云ふ所は
此下を果て下迄

● 白雲飛渡

[illegible]

121

肉松

三
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

青子色香 花月夜

[illegible]

[illegible]

十一月廿二日

此乃本堂例便此部

た

去冬冬前到部以因忙
出原字稿紙均存卷六
中先令查驗今已到部

山姓碑、自多々大空印人との交渉上
書名を以てしるす

[illegible]

[illegible]

十一日

十四日

内伝

一 今市屋の例に
一 今市屋の例に
一 今市屋の例に
一 今市屋の例に

ちと平井屋の例に
ちと平井屋の例に
ちと平井屋の例に
ちと平井屋の例に